令和３年９月２日時点

亀田総合病院―内科―血液内科

診療科別コース（当初作成日：令和元年11月18日）

1 概要

診療科（基本領域）	内科－血液内科
キャリア形成支援機関	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
診療科別コース管理者 所属 職 氏名	亀田総合病院 血液・腫瘍内科部長 末永 孝生
問合せ先	亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp
コースの特長	・ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 ・身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 ・充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期（自科・他科）とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考（標準的な取得時期等）
内科専門医	医師免許取得後6年目
血液専門医	医師免許取得後7年目
医学博士	医師免許取得後9年目 （県外の大学院の場合、猶予期間を利用）

3 キャリアパスのイメージ（想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修		専門研修（内科）						
			基幹	基幹	連携				
勤務先病院※	臨床研修病院群		A、B			B＊		A＊	

※勤務先病院：臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予
＊:3～4 年間, 大学院にて医学研究を行い, 博士号取得

4 勤務が想定される医療機関（将来的な配置を約束するものではありません）

地域A群	地域B群	県内病院群
さんむ医療センター 東陽病院 千葉県立佐原病院 国保多古中央病院 東庄町国民健康保険 東庄病院 銚子市立病院 国保匝瑳市民病院 大網白里市立国保大網病院 公立長生病院 鋸南町国民健康保険鋸南病院 南房総市立富山国保病院 鴨川市立国保病院 国保直営君津中央病院大佐和分院	亀田総合病院 国立がん研究センター東病院 安房地域医療センター	

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

亀田総合病院の後期研修プログラムは、「LOVE」というキーワードのもとで行われてきました。

「LOVE」は、Learner-centered、Outcome-based、Variation、そして Excellence の頭文字をとったものです。
・研修者のニーズやスタイルに合わせ、指導者と研修者がともにカリキュラムを考える。
・形式だけの研修ではなく、研修のアウトカムを重視する。
・個々人の多様性に合わせ、ヴァリエーションに富んだ研修を工夫する。
・診療のあらゆる面で Clinical Excellence を継続的に追求する。

「LOVE」というキーワードは、研修者と指導者が共に歩み、それぞれの研修医のよりよい研修を考え続けてきた、亀田の後期研修の歴史を象徴しています。

皆さんはひとりひとり、個性も強みも適性も異なり、将来めざす医師像も異なっています。また、社会において必要とされる医師像も多様です。当院の内科専門医研修では、幅広く総合的な内科診療能力を高いレベルで修得するのはもちろん、皆さんの個性や強みを伸ばすことを目標とし、一緒になって取り組んでいきたいと思います。

※ 猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります。
国立循環器病研究センター、南相馬市立総合病院、森の里病院

（注意事項）
- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間（妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等）等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します（旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します）。

令和３年９月２日時点

亀田総合病院―内科―腫瘍内科

診療科別コース（当初作成日：令和元年11月18日）

1 概要

診療科（基本領域）	内科－腫瘍内科
キャリア形成支援機関	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
診療科別コース管理者 所属 職 氏名	亀田総合病院 腫瘍内科部長 大山 優
問合せ先	亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp
コースの特長	・ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 ・身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 ・充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期（自科・他科）とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考（標準的な取得時期等）
内科専門医	医師免許取得後6年目
がん薬物療法専門医	医師免許取得後8年目
医学博士	医師免許取得後9年目 （県外の大学院の場合、猶予期間を利用）

3 キャリアパスのイメージ（想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修		専門研修（内科）						
			基幹	基幹	連携				
勤務先病院※	臨床研修病院群		A、B			B＊		A＊	

※勤務先病院：臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予
＊:3～4 年間，大学院にて医学研究を行い，博士号取得

4 勤務が想定される医療機関（将来的な配置を約束するものではありません）

地域A群	地域B群	県内病院群
さんむ医療センター 東陽病院 千葉県立佐原病院 国保多古中央病院 東庄町国民健康保険 東庄病院 銚子市立病院 国保匝瑳市民病院 大網白里市立国保大網病院 公立長生病院 鋸南町国民健康保険鋸南病院 南房総市立富山国保病院 鴨川市立国保病院 国保直営君津中央病院大佐和分院	亀田総合病院 国立がん研究センター東病院 安房地域医療センター	

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

亀田総合病院の後期研修プログラムは、「LOVE」というキーワードのもとで行われてきました。

「LOVE」は、Learner-centered、Outcome-based、Variation、そして Excellence の頭文字をとったものです。
・研修者のニーズやスタイルに合わせ、指導者と研修者がともにカリキュラムを考える。
・形式だけの研修ではなく、研修のアウトカムを重視する。
・個々人の多様性に合わせ、ヴァリエーションに富んだ研修を工夫する。
・診療のあらゆる面で Clinical Excellence を継続的に追求する。

「LOVE」というキーワードは、研修者と指導者が共に歩み、それぞれの研修医のよりよい研修を考え続けてきた、亀田の後期研修の歴史を象徴しています。

皆さんはひとりひとり、個性も強みも適性も異なり、将来めざす医師像も異なっています。また、社会において必要とされる医師像も多様です。当院の内科専門医研修では、幅広く総合的な内科診療能力を高いレベルで修得するのはもちろん、皆さんの個性や強みを伸ばすことを目標とし、一緒になって取り組んでいきたいと思います。

※ 猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります。
国立循環器病研究センター、南相馬市立総合病院、森の里病院

（注意事項）
- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間（妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等）等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します（旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します）。

令和３年９月２日時点

亀田総合病院―内科―腎臓内科

診療科別コース（当初作成日：令和元年11月18日）

1 概要

診療科（基本領域）	内科ー腎臓内科
キャリア形成支援機関	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
診療科別コース管理者 所属 職 氏名	亀田総合病院 腎臓高血圧内科部長 鈴木 智
問合せ先	亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp
コースの特長	・ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 ・身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 ・充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期（自科・他科）とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考（標準的な取得時期等）
内科専門医	医師免許取得後6年目
腎臓専門医	医師免許取得後7年目
透析専門医	医師免許取得後6年目
高血圧専門医	医師免許取得後7年目
医学博士	医師免許取得後9年目 （県外の大学院の場合、猶予期間を利用）

3 キャリアパスのイメージ（想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修		専門研修（内科）						
			基幹	基幹	連携				
勤務先病院※	臨床研修病院群		A、B			B＊		A＊	

※勤務先病院：臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予
＊:3～4 年間, 大学院にて医学研究を行い，博士号取得

4 勤務が想定される医療機関（将来的な配置を約束するものではありません）

地域A群	地域B群	県内病院群
さんむ医療センター 東陽病院 国保多古中央病院 香取おみがわ医療センター 東庄町国民健康保険 東庄病院 銚子市立病院 国保匝瑳市民病院 大網白里市立国保大網病院 公立長生病院 鋸南町国民健康保険鋸南病院 南房総市立富山国保病院 鴨川市立国保病院 国保直営君津中央病院大佐和分院	亀田総合病院 国立がん研究センター東病院 安房地域医療センター	

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

亀田総合病院の後期研修プログラムは、「LOVE」というキーワードのもとで行われてきました。

「LOVE」は、Learner-centered、Outcome-based、Variation、そして Excellence の頭文字をとったものです。
・研修者のニーズやスタイルに合わせ、指導者と研修者がともにカリキュラムを考える。
・形式だけの研修ではなく、研修のアウトカムを重視する。
・個々人の多様性に合わせ、ヴァリエーションに富んだ研修を工夫する。
・診療のあらゆる面で Clinical Excellence を継続的に追求する。

「LOVE」というキーワードは、研修者と指導者が共に歩み、それぞれの研修医のよりよい研修を考え続けてきた、亀田の後期研修の歴史を象徴しています。

皆さんはひとりひとり、個性も強みも適性も異なり、将来めざす医師像も異なっています。また、社会において必要とされる医師像も多様です。当院の内科専門医研修では、幅広く総合的な内科診療能力を高いレベルで修得するのはもちろん、皆さんの個性や強みを伸ばすことを目標とし、一緒になって取り組んでいきたいと思います。

※ 猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります。
国立循環器病研究センター、南相馬市立総合病院、森の里病院

（注意事項）
- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間（妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等）等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します（旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します）。

令和３年９月２日時点

亀田総合病院―内科―膠原病内科

診療科別コース（当初作成日：令和元年11月18日）

1 概要

診療科（基本領域）	内科－膠原病内科
キャリア形成支援機関	医療法人鉄蕉会　亀田総合病院
診療科別コース管理者 所属　職　氏名	亀田総合病院　リウマチ・膠原病・アレルギー内科部長 六反田　諒
問合せ先	亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp
コースの特長	・ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 ・身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 ・充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期（自科・他科）とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考（標準的な取得時期等）
内科専門医	医師免許取得後6年目
リウマチ専門医	医師免許取得後7年目
医学博士	医師免許取得後9年目 （県外の大学院の場合、猶予期間を利用）

3 キャリアパスのイメージ（想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修		専門研修（内科）						
			基幹	基幹	連携				
勤務先病院※	臨床研修病院群		A、B			B＊		A＊	

※勤務先病院：臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群，B…地域B群，C…県内病院群，猶予…県外での勤務等による猶予
＊:3～4 年間，大学院にて医学研究を行い，博士号取得

4 勤務が想定される医療機関（将来的な配置を約束するものではありません）

地域A群	地域B群	県内病院群
さんむ医療センター 東陽病院 千葉県立佐原病院 国保多古中央病院 東庄町国民健康保険　東庄病院 銚子市立病院 国保匝瑳市民病院 大網白里市立国保大網病院 公立長生病院 鋸南町国民健康保険鋸南病院 南房総市立富山国保病院 鴨川市立国保病院 国保直営君津中央病院大佐和分院	亀田総合病院 国立がん研究センター東病院 安房地域医療センター	

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

亀田総合病院の後期研修プログラムは、「LOVE」というキーワードのもとで行われてきました。

「LOVE」は、Learner-centered、Outcome-based、Variation、そして Excellence の頭文字をとったものです。
・研修者のニーズやスタイルに合わせ、指導者と研修者がともにカリキュラムを考える。
・形式だけの研修ではなく、研修のアウトカムを重視する。
・個々人の多様性に合わせ、ヴァリエーションに富んだ研修を工夫する。
・診療のあらゆる面で Clinical Excellence を継続的に追求する。

「LOVE」というキーワードは、研修者と指導者が共に歩み、それぞれの研修医のよりよい研修を考え続けてきた、亀田の後期研修の歴史を象徴しています。

皆さんはひとりひとり、個性も強みも適性も異なり、将来めざす医師像も異なっています。また、社会において必要とされる医師像も多様です。当院の内科専門医研修では、幅広く総合的な内科診療能力を高いレベルで修得するのはもちろん、皆さんの個性や強みを伸ばすことを目標とし、一緒になって取り組んでいきたいと思います。

※ 猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります。
国立循環器病研究センター、南相馬市立総合病院、森の里病院

（注意事項）
- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間（妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等）等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します（旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します）。

令和３年９月２日時点

亀田総合病院―内科―感染症科

診療科別コース（当初作成日：令和元年11月18日）

１ 概要

診療科（基本領域）	内科－感染症科
キャリア形成支援機関	医療法人鉄蕉会　亀田総合病院
診療科別コース管理者 所属　職　氏名	亀田総合病院　感染症科部長 細川　直登
問合せ先	亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp
コースの特長	・ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 ・身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 ・充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期（自科・他科）とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。

２ 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考（標準的な取得時期等）
内科専門医	医師免許取得後6年目
感染症専門医	医師免許取得後9年目
ICD制度協議会認定ICD	医師免許取得後6年目
医学博士	医師免許取得後9年目 （県外の大学院の場合、猶予期間を利用）

３ キャリアパスのイメージ（想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
状況	臨床研修		専門研修（内科）					猶予		
			基幹	基幹	連携					
勤務先病院※	臨床研修病院群		A、B			B＊		＃	A＊	

※勤務先病院：臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予
＊:3～4 年間, 大学院にて医学研究を行い, 博士号取得
＃…医師免許取得後 6-8 年目は感染症フェローシップ研修、その後 9･10 年目で A 群病院に勤務する。
そのため 6 年目は猶予期間を利用し、6-8 年目は亀田総合病院感染症フェローシッププログラムで研修を行う。

４ 勤務が想定される医療機関（将来的な配置を約束するものでありません）

地域A群	地域B群	県内病院群
さんむ医療センター 東陽病院 千葉県立佐原病院 国保多古中央病院 東庄町国民健康保険　東庄病院 銚子市立病院 国保匝瑳市民病院 大網白里市立国保大網病院 公立長生病院 鋸南町国民健康保険鋸南病院 南房総市立富山国保病院 鴨川市立国保病院 国保直営君津中央病院大佐和分院	亀田総合病院 国立がん研究センター東病院 安房地域医療センター	

５ 診療科別コース管理者からのメッセージ

亀田総合病院の後期研修プログラムは、「LOVE」というキーワードのもとで行われてきました。

「LOVE」は、Learner-centered、Outcome-based、Variation、そして Excellence の頭文字をとったものです。
・研修者のニーズやスタイルに合わせ、指導者と研修者がともにカリキュラムを考える。
・形式だけの研修ではなく、研修のアウトカムを重視する。
・個々人の多様性に合わせ、ヴァリエーションに富んだ研修を工夫する。
・診療のあらゆる面で Clinical Excellence を継続的に追求する。

「LOVE」というキーワードは、研修者と指導者が共に歩み、それぞれの研修医のよりよい研修を考え続けてきた、亀田の後期研修の歴史を象徴しています。

皆さんはひとりひとり、個性も強みも適性も異なり、将来めざす医師像も異なっています。また、社会において必要とされる医師像も多様です。当院の内科専門医研修では、幅広く総合的な内科診療能力を高いレベルで修得するのはもちろん、皆さんの個性や強みを伸ばすことを目標とし、一緒になって取り組んでいきたいと思います。

※　猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります
国立循環器病研究センター、南相馬市立総合病院、森の里病院

（注意事項）
- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間（妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等）等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します（旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します）。